

## マリンバック

### 取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。

### 警告

電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

本機は、防水性能が低下する場合があります。必ず取扱説明書をお読みください。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。この取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

本機は、防水性能が低下する場合があります。必ず取扱説明書をお読みください。

本機は、防水性能が低下する場合があります。必ず取扱説明書をお読みください。

本機は、防水性能が低下する場合があります。必ず取扱説明書をお読みください。

本機は、防水性能が低下する場合があります。必ず取扱説明書をお読みください。

本機は、防水性能が低下する場合があります。必ず取扱説明書をお読みください。

© 2004 Sony Corporation Printed in Japan

http://www.sony.co.jp/

**eco info** この説明書は100%古紙再生紙とVOC（揮発性有機化合物）ゼロ植物油型インキを使用しています。

### 必ずお読みください

- 実際に水中で撮影する前に、水深1mくらいのところで、デジタルスチルカメラが正常に作動するか、またマリンバックに水漏れがないかを確認してから、潜水を開始してください。
- 万一マリンバックの不具合により水漏れ事故を起こした場合、内部機材（デジタルスチルカメラ、電池など）の損害、記録内容、および撮影に要した諸費用などの補償はご容赦ください。
- マリンバックおよび内部機器に対する損害保険をご用意しております。案内書をお読みのうえ、ご加入をおすすめします。

### 必ずお読みください

### 主な特長

- 本機はソニーのデジタルスチルカメラDSC-P73専用のマリンバックです。
- お手持ちのデジタルスチルカメラに本機を取り付けると、雨天時や海辺（水中では水深40m以内）また雪や雨などの悪天候時での撮影ができます。

マリンバックの内部構造。防水性能が低下する場合があります。必ず取扱説明書をお読みください。

○リングのはずれやはさみ込み、ゴミの付着などがあると、水中で水漏れがおきます。必ず確認したあとに、ご使用ください。詳しくは、○リングメンテナンスマニュアルをお読みください。

## 安全のために

ソニー製品は、安全に充分配慮して設計されています。しかし、まちがった使いかたをすると、火災などによる人身事故が起きるおそれがあり危険です。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

- 安全のための注意事項を守る
- 故障したら使わずに、テクニカルインフォメーションセンターに修理を依頼する

変な音やにおいがしたら、煙が出たら

1 電源を切る

2 テクニカルインフォメーションセンターに修理を依頼する

本機は、防水性能が低下する場合があります。必ず取扱説明書をお読みください。

この取扱説明書では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

**警告** この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。

**注意** この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

本機は、防水性能が低下する場合があります。必ず取扱説明書をお読みください。

**警告** 下記の注意事項を守らないと、事故により死亡や大けがの原因となります。

潜水中の使用は周囲の状況を把握し、安全に充分注意を払う注意を怠ると、潜水事故の原因となります。万一、マリンバックに水漏れが発生した場合あわず身体に影響がないように、浮上時の減圧時間を守り、周囲の状況に注意しながら浮上してください。

**注意** 下記の注意事項を守らないと、けがをすることがあります。

衝撃を与えないガラス部分が割れて、けがの原因となることがあります。

本機は、防水性能が低下する場合があります。必ず取扱説明書をお読みください。

### 取り扱い上の注意

- 本体の前にあるガラス面に強い衝撃を与えないでください。割れることがあります。
- 海辺や海上でのマリンバックの閉閉はできるだけ避けてください。デジタルスチルカメラの取り付けや“メモリースティック”交換などは、湿気の少ない、潮風のあたらない場所で行ってください。
- マリンバックを水中に投げ込まないでください。
- 波が高い場所でのご使用は避けてください。
- 次のような環境でのご使用は避けてください。

- 高温多湿な場所
- 40 を越える温水の中
- 0 以下の場所
- 結露、水漏れ、デジタルスチルカメラの故障の原因になります。
- 周囲温度が35 を超えるときのご使用は、連続30分以内にしてください。
- 高温多湿の場所や炎天下に長時間放置しないでください。やむをえず直射日光のあたる場所に置く場合は、上からタオルなどをかけて保護してください。
- マリンバックに長時間収納して使用していると、デジタルスチルカメラが熱くなります。日陰などの涼しい場所にしばらく放置してから、デジタルスチルカメラを本機から取り出してください。
- 万一、フロントプロテクターがはずれた場合は、マーク(A)を合わせ、しっかりと押し込むようにして取り付けてください。

水漏れについて
万一マリンバック内部に水滴などが確認された場合は、ただちにご使用を中止してください。デジタルスチルカメラがぬれた場合は、テクニカルインフォメーションセンターにご相談ください。修理費用はお客様のご負担となります。

フロントガラスのくもり止め効果について
マリンバック前部のガラス面は、くもり止めの効果がある構造になっています。ただし、デジタルスチルカメラの取り付けは湿気の少ない室内などで行ってください。

防滴パッキンについて
防滴パッキンはずしたり、グリスを塗らないでください。防滴パッキンの浮き、はさみ込みは水漏れの原因となります。万一、防滴パッキンがはずれた場合は、ねじれないように注意して取り付けてください。

防滴パッキン
防滴パッキンに傷・ヒビが見つかったら交換してください。

○リングと防滴パッキンの耐用年数

○リング
マリンバックの使用頻度や保存状態によって変わりますが、1年程度です。

防滴パッキン
防滴パッキンに傷・ヒビが見つかったら交換してください。

交換後に、水漏れしないことを確認してください。

グリスについて

グリスは付属の青いチューブのグリスをお使いください。黄色いチューブのグリスや他社のグリスを使うと、○リングを傷め、水漏れます。

○リング、防滴パッキン、グリスのお問い合わせ

テクニカルインフォメーションセンターにご相談ください。
○リング(番号3-080-065-01)
防滴パッキン(番号3-080-066-01)
グリス(番号3-071-370-01)

### お手入れのしかた

- 海でのご使用後は、必ず、バックルははずす前に真水（水道水など）で洗い、塩分や砂をおとしてから、乾いた柔らかい布で水分を拭き取ってください。30分程度、真水に浸しておくことをおすすめします。塩分がついたままにしておくと、金属部分が傷ついたり、さびたりして、水漏れの原因になることがあります。
- サンオイルなどが付着したときは、ぬるま湯でよく洗い流してください。
- マリンバック内部は、乾いた柔らかい布で拭き、水洗いはしないでください。

上記のお手入れはマリンバックご使用のたびに必ず行ってください。シンナー、ベンジン、アルコールなどは表面の仕上げを傷めますので、使わないでください。

保管するときは
・○リングの劣化を防ぐため、お買い上げ時に付いていたスぺーサーを取り付けてください。

付属品
ハンドストラップ(1)
グリス(1)
○リング(1)
スぺーサー(1)
取扱説明書(1)
○リングメンテナンスマニュアル(1)
保証書(1)
損害保険のご案内(1)

別売りアクセサリー
カラーフィルターキット：VF-MP5K
アームキット：VCT-MP1K
水中ビデオライト：HVL-ML20M
（アームキットVCT-MP1K、“インフォリチウム”(Mシリーズ)バッテリー、(バッテリー-チャージャー)との併用が必要です。)

- リングにホコリがつかないようにしてください。
- リングにグリスを薄く塗って溝に入れ、風通しのよい涼しいところに保管してください。バックルは締めないでください。
- 高温、寒冷、多湿な場所や、ナフタリン、樟脳などを入れている場所での保管は、機材を傷めますので避けてください。

本機は、防水性能が低下する場合があります。必ず取扱説明書をお読みください。

仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますがご了承下さい。

### 主な仕様

材質
プラスチック(PC、ABS)、ステンレス、ガラス
防水構造
○リング、バックル

耐圧
水深40 mまで
外部より操作可能なスイッチ
POWER(パワー)、MODE(モード)、シャッター、ズーム、フラッシュ、マクロ、コントロール、セルフタイマー、レビュー、メニュー、画像サイズ/削除、画面表示/液晶画面オン/オフ

最大外形寸法
(最大突起部を除く)
161×94×94.5 mm
(幅/高さ/奥行き)

質量
約400 g(本体のみ)

付属品
ハンドストラップ(1)
グリス(1)
○リング(1)
スぺーサー(1)
取扱説明書(1)
○リングメンテナンスマニュアル(1)
保証書(1)
損害保険のご案内(1)

別売りアクセサリー
カラーフィルターキット：VF-MP5K
アームキット：VCT-MP1K
水中ビデオライト：HVL-ML20M
（アームキットVCT-MP1K、“インフォリチウム”(Mシリーズ)バッテリー、(バッテリー-チャージャー)との併用が必要です。)

本機は、防水性能が低下する場合があります。必ず取扱説明書をお読みください。

仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますがご了承下さい。

### 故障かな？と思ったら

修理にお出しになる前に、もう1度点検してみましょう。

それでも正常に作動しないときは、テクニカルインフォメーションセンターにご相談ください。

保証期間中の修理は保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証書は国内に限られています。付属している保証書は、国内仕様です。外国で万一、故障、不具合が生じた場合の現地でのアフターサービスおよびその費用については、ご容赦ください。

保証期間経過後の修理は修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。耐水圧試験および耐水圧試験に関わる修理には日数がかかります。またご要望により耐水圧試験をおこなう場合は有料となります。当社ではマリンバックの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後8年間保有しています。この部品保有期間を修理可能の期間とさせていただきます。保有期間が経過したあとも、故障箇所によっては修理可能な場合がありますので、テクニカルインフォメーションセンターにご相談ください。

## 保証書とアフターサービス

保証書
この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お買い上げ店でお受けとりください。

- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保管してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

ご相談になるときは次のことをお知らせください。
型名：MPK-PEA
故障の状態：できるだけ詳しくお買い上げ日

お問い合わせ窓口のご案内
テクニカルインフォメーションセンター
ご使用上の不明な点や技術的なご質問のご相談、および修理受付の窓口です。

製品の品質には万全を期しておりますが、万一不具合が生じた場合は、「テクニカルインフォメーションセンター」までご連絡ください。修理に関するご案内をさせていただきます。また修理が必要な場合は、お客様のお宅まで指定宅配便にて集荷にうかがいますので、まずお電話ください。

電話：0564-62-4979
受付時間：月～金曜日 午前9時～午後5時
（ただし、年末、年始、祝日を除く）
お電話される際に、本機の型名（MPK-PEA）をお知らせください。より迅速な対応が可能になります。

ソニー株式会社 〒141-0001 東京都品川区区北品川6-7-35

# 準備


## デジタルスチルカメラの準備

デジタルスチルカメラの取り付けは、湿気の少ない室内などでおこなってください。高温多湿な場所でのマリンバックの開閉は、マリンバック前部のくもりの原因となります。

デジタルスチルカメラの取扱説明書もあわせてご覧ください。

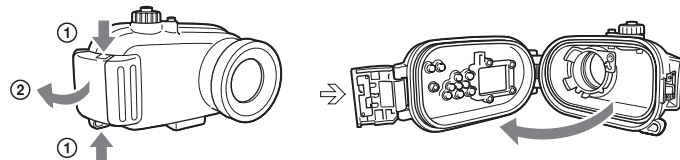
- 1 デジタルスチルカメラのリストストラップをはずす。
- 2 電池を入れる。  
十分に充電してある電池を入れてください。
- 3 “メモリースティック”を入れる。
- 4 デジタルスチルカメラの電源を入れる。
- 5 デジタルスチルカメラの液晶画面を「ON」にする。
- 6 デジタルスチルカメラの各設定をオートにする。
- 7 デジタルスチルカメラのAFイルミネーターを「OFF」にする。  
AFイルミネーターは使用できません。
- 8 デジタルスチルカメラのレンズや液晶画面が汚れていないことを確認する。

## デジタルスチルカメラをマリンバックに取り付ける

- 1 デジタルスチルカメラの電源を切る。
- 2 デジタルスチルカメラのモードダイヤルを「」にする。



- 3 マリンバックを開ける。



上下のOPENボタンを同時に押しながら①、バックルを矢印②の方向にはずし、マリンバックのボディーを開く。

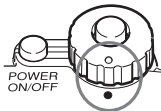
ご注意  
スペーサーは、マリンバックを保管する際に必要ですので、紛失しないようにご注意ください。

- 4 マリンバックの準備をする。

別冊のリングメンテナンスマニュアルを必ずお読みください。リングの取り扱いについての重要な説明が書かれています。

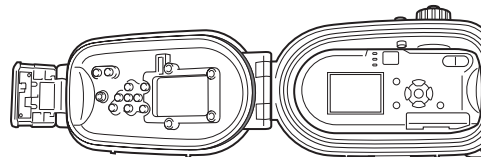
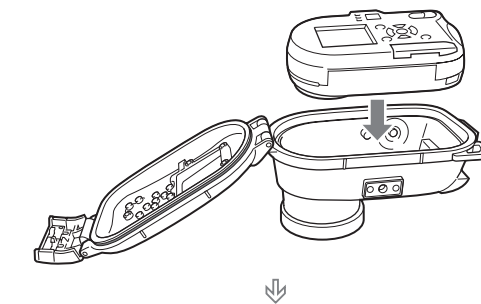
- ① リングを取りはずす。
- ② リングにグリスを塗る。  
リング、溝および本体との接触面の砂やゴミなどをきれいに取り除き、リングに薄く均一にグリスを塗る。
- ③ 防滴パッキンに砂やゴミが付着していないかを確認する。  
ご注意  
防滴パッキンをはずしたり、グリスを塗ったりしないでください。  
砂やゴミが付着したままふたを閉めると、本体に傷をつけたり、水漏れの原因となることがあります。

- 5 マリンバックのモードダイヤルの位置をイラストのようにセットにする。



- 6 マリンバックにデジタルスチルカメラを取り付ける。

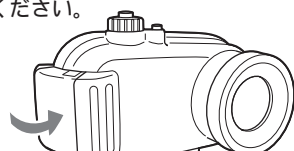
デジタルスチルカメラを出し入れするときは、必ず電源を切ってください。電源が入ったままではデジタルスチルカメラのレンズを傷つけることがあります。



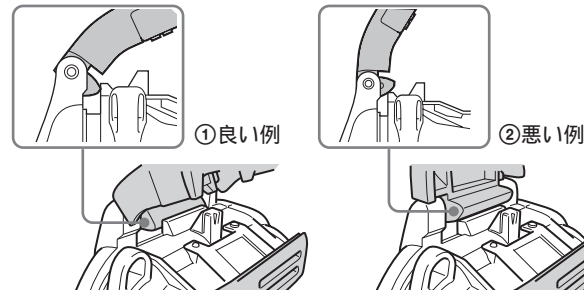
デジタルスチルカメラが正しく入っているか確認してください。

- 7 ボディーを閉じて、バックルを締める。

ボディーをしっかり押さえ、バックルがカチッと上下2箇所がロックされるまで押してください。



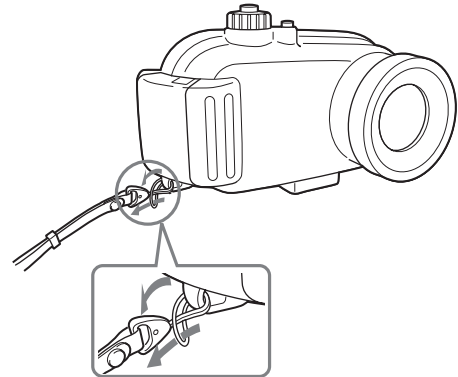
ボディーを閉じるときのバックルの位置



②の状態ではバックルを締めると引っかかり、ロックできません。

ご注意  
マリンバックのボディーを閉じるとき、リングの表面とマリンバックの溝に、ゴミや砂、毛髪などがついていないことを確かめてください。上記のような異物をはさみ込むと、水漏れの原因となることがあります。

ハンドストラップを取り付ける  
ご使用前に付属のハンドストラップを取り付けることをおすすめします。

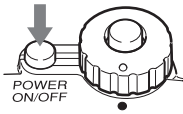


ご注意  
マリンバックのボディー開閉時に、ハンドストラップのはさみ込みにご注意ください。はさみ込むと水漏れの原因となることがあります。

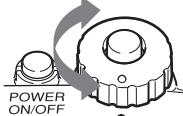
# マリンバックを使う

## 撮影する

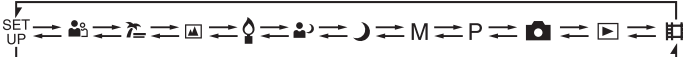
- 1 電源を入れる。



モードダイヤルが正常に動くことを確認してください。











モードダイヤルを回すと、次の順にモードが切り換わります。

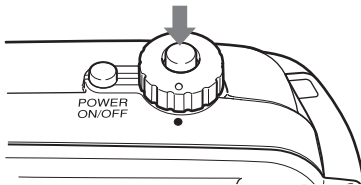


各モードについては液晶画面で確認してください。

- 2 モードダイヤルを希望のモードに合わせ、シャッターボタンを押す。

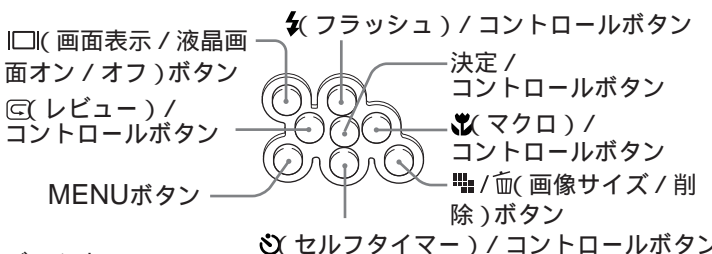
液晶画面を見ながら撮影できます。  
静止画を撮影するとき...デジタルスチルカメラのモードダイヤルを「」または「P」「M」にする。  
動画を撮影するとき...デジタルスチルカメラのモードダイヤルを「」にする。  
動画撮影時、音声を記録することはできません。  
場面に合わせて撮影をするとき...デジタルスチルカメラのモードダイヤルを「」「」「」「」「」「」にする。

詳しくは、お使いのデジタルスチルカメラの取扱説明書をご覧ください。

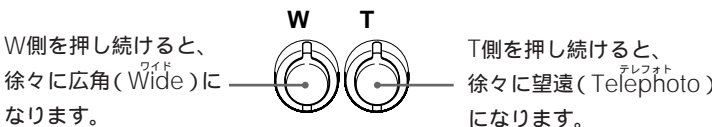


ご注意  
デジタルスチルカメラを収納した状態で、モードダイヤルをむやみに回さないでください。故障の原因になります。  
水中では水の屈折率が大きいので、陸上より約1/4距離が近くに見えます。したがって水中撮影でフォーカスプリセットを使用する場合、設定した距離と被写体までの実際の距離は異なります。

さまざまな機能を使う / 設定をする  
マリンバックに収納したデジタルスチルカメラのさまざまな機能を使うことができます。



ズームする  
ズームボタンを押します。

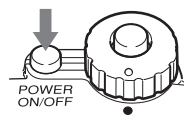


ご注意  
ファインダーによる撮影はできません。  
撮影一時停止状態が3分以上続くと自動的に電源が切れます。これは電池の消耗を防ぐためです。再度撮影するには、電源を入れ直してください。詳しくは、お使いのデジタルスチルカメラの取扱説明書をご覧ください。

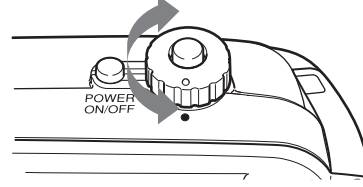
## コントロールボタンを使って画像を見る

デジタルスチルカメラのコントロールボタンを使って、液晶画面で撮影した画像を見ることができます。このとき音声は聞こえません。

- 1 電源を入れる。



- 2 モードダイヤルを「」にする。



- 3 コントロールボタンを操作して、再生したい画像を選ぶ。

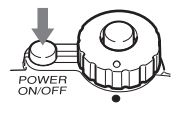


詳しくは、お使いのデジタルスチルカメラの取扱説明書をご覧ください。

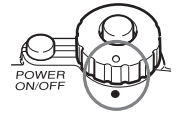
## デジタルスチルカメラを取りはずす

- 1 電源を切る。

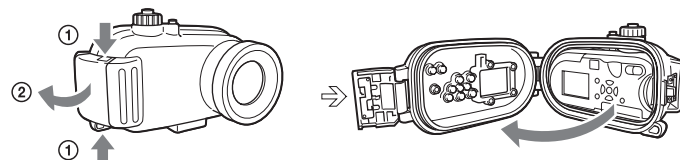
デジタルスチルカメラを出し入れするときは、必ず電源を切ってください。電源が入ったままではデジタルスチルカメラのレンズを傷つけることがあります。



- 2 マリンバックのモードダイヤルの位置をイラストのようにセットする。



- 3 上下のOPENボタンを同時に押しながら①、バックルを矢印②の方向にはずし、マリンバックのボディーを開く。



- 4 デジタルスチルカメラを取り出す。

長時間ご使用になったときは、デジタルスチルカメラが熱くなります。電源を切ってからしばらく放置したあとに、デジタルスチルカメラを取り出してください。

デジタルスチルカメラを取り出すとき、落とさないようにご注意ください。

ご注意  
マリンバックを開ける前に、マリンバックを水道水または真水で洗い、柔らかい布で水滴を拭き取ってください。マリンバックを開けたときに、体や毛髪、ウエットスーツの袖口などからの水滴がデジタルスチルカメラにかからないようにご注意ください。

## ダイビングの前に

水中撮影をする前に、水深1m程度のところで正常に作動するか、また水漏れがないか確認してから潜水を始めてください。  
デジタルスチルカメラは、ダイビングの前にあらかじめマリンバックに取り付け、船上や海岸などでのマリンバックの開閉は、できるだけ避けてください。デジタルスチルカメラを取り付けるときは、できるだけ湿気の少ないところで行ってください。  
ご使用前に、マリンバックの前後のボディーの間に異物のほさみ、ゴミがないかを確認してください。  
水中で撮影すると、被写体の色が青みがかって見えることがあります。このような場合は、色の補正に別売りのカラーフィルターキットVF-MP5K(別売り)をお使いになることをおすすめします。

## 撮影に適した時間

太陽が真上にある午前10時から午後2時頃までが、撮影に最も適した時間です。  
太陽の光が届きにくい場所での撮影や夜間の撮影には、水中ビデオライトHVL-ML20M(別売り)をお使いください。

## 各部の名前

